



北九州市とチェリャビンスクの経済交流

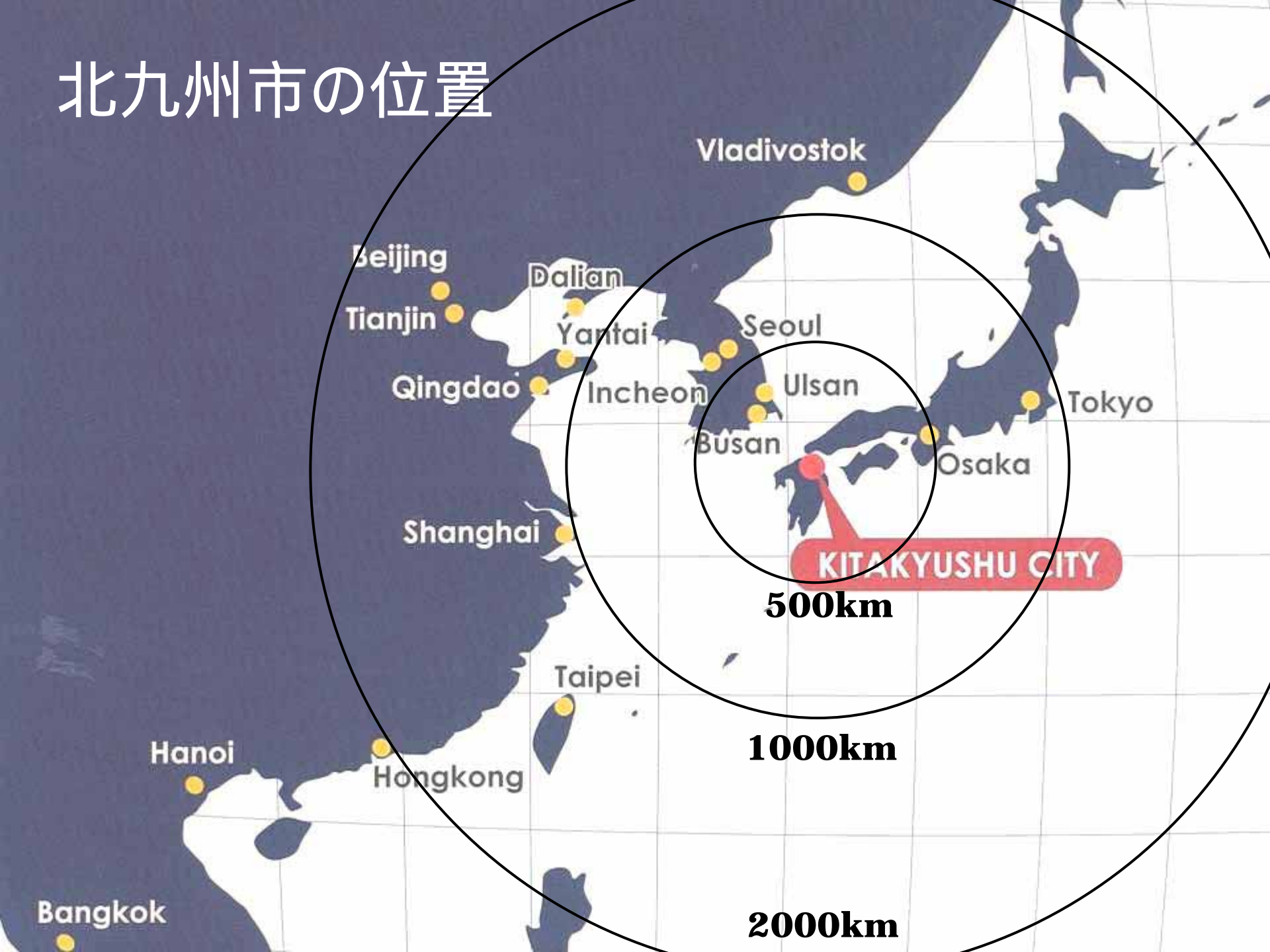


KITA

Kitakyushu International Techno-cooperative Association

2008年 9月 5日 Kazuya Kudou

北九州市の位置



1. 北九州市の概要

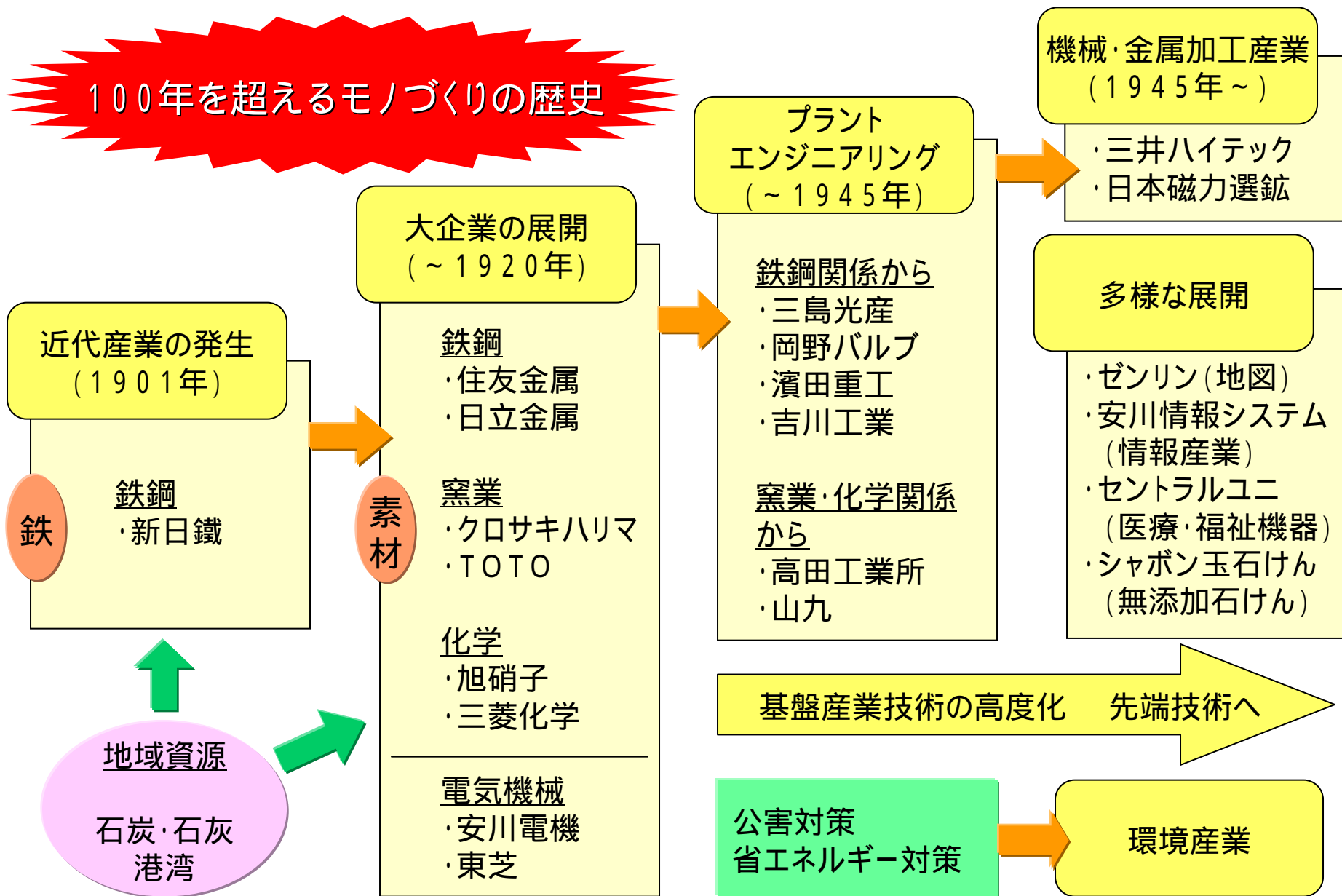


市中心部

人口	99.3万人 (2005年10月1日現在)
面積	487.66 km ² (2005年10月1日現在)
GDP	3.5兆円 (2005年現在)
主要産業	鉄鋼、化学、機械、窯業、情報産業等

2. 北九州市の産業発展の歴史

100年を超えるモノづくりの歴史



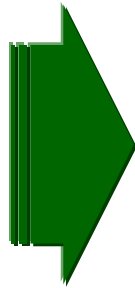
3 . 北九州市の公害克服への取り組み



1960年代



現在



3.(1) 北九州市の公害対策



公害防止協定の締結



洞海湾の浚渫



公害監視センターの設置



下水処理場の建設

3.(2) 企業の環境対策

終末処理(汚染防止装置の設置)



電機集塵機



脱硫装置



排水処理施設

クリーナープロダクションの導入

- ・ 原材料、燃料使用の評価・改善
- ・ 生産工程の改善
- ・ 維持管理の徹底
- ・ 人材育成 など



省エネ・省資源の達成

環境負荷低減

+

生産性向上

4 . 北九州エコタウン事業の展開

実証研究エリア全景



実証研究エリア、 総合環境コンビナート

企業、行政、大学の連携により、最先端の廃棄物処理技術やリサイクル技術を実証的に研究する機関が集積し、環境技術開発拠点をを目指す。

響リサイクル団地

市が土地を整備し、事業者に長期間賃貸することで、中小企業の環境分野への進出を支援する。

総合環境コンビナート・響リサイクル団地全景



5 . 北九州市とチェリャビンスクとの経済交流

5 . (1) 経済交流の経緯

- BRICsのひとつロシアへの関心の高まり
- **ROTOBOのサポート開始**
- 鉄鋼の街チェリャビンスク州の選定

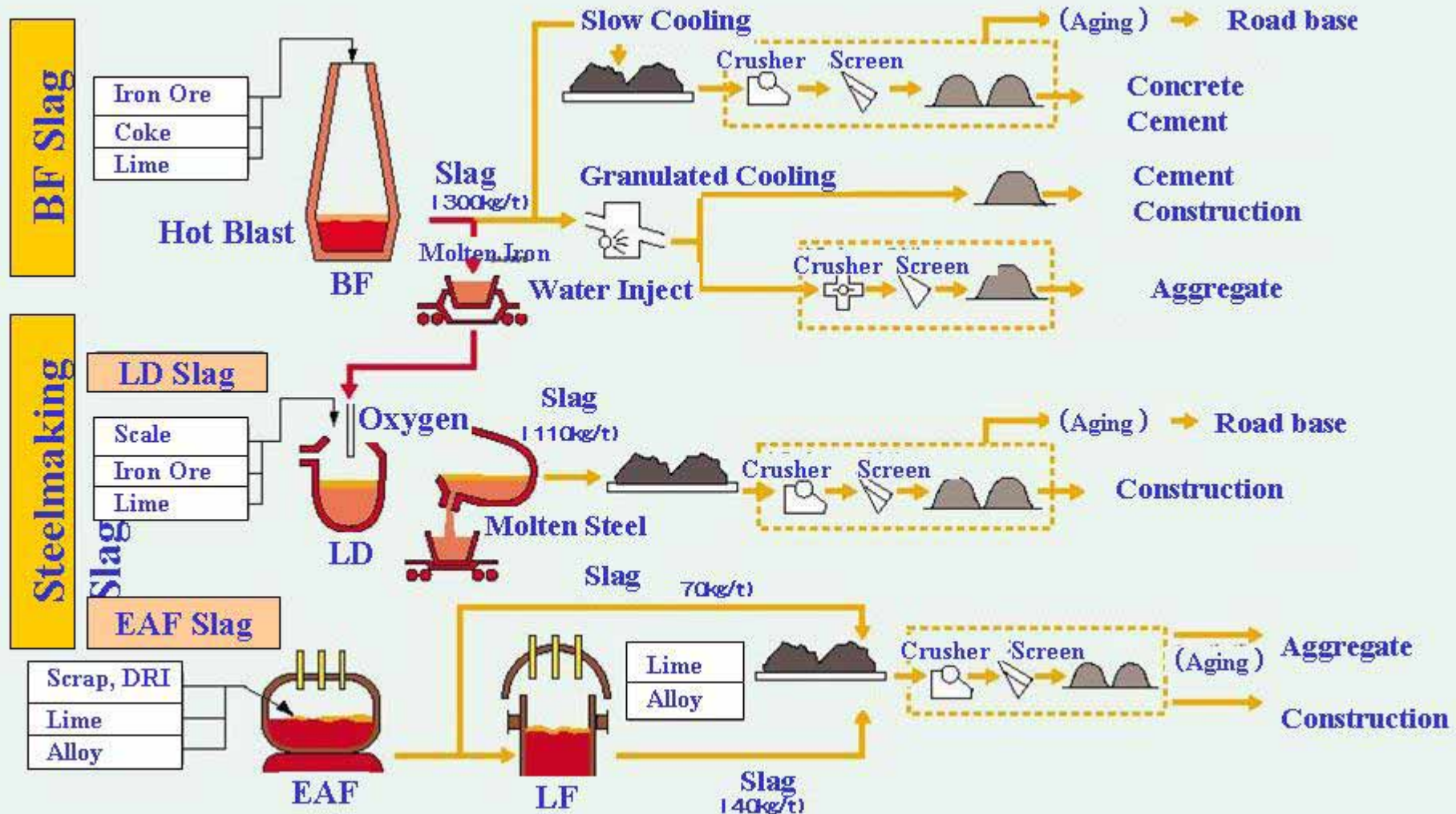
- ロシア市場開拓ミッション派遣 (2005年8月)
 - 鉄鋼、機械設備メーカー等 12社参加
- 環境設備・対策の専門家派遣 (2006年3月)
 - スラグの山の発見
 - ロシアでのスラグ処理ビジネスに発展

- チェリャビンスク代表団が北九州訪問
 - 2006年10月 鉄鋼 (製鉄、スラグ処理)
 - 2007年5月 環境 (ごみ焼却、リサイクル)
 - 2008年6月 環境 (廃棄物処理全般)

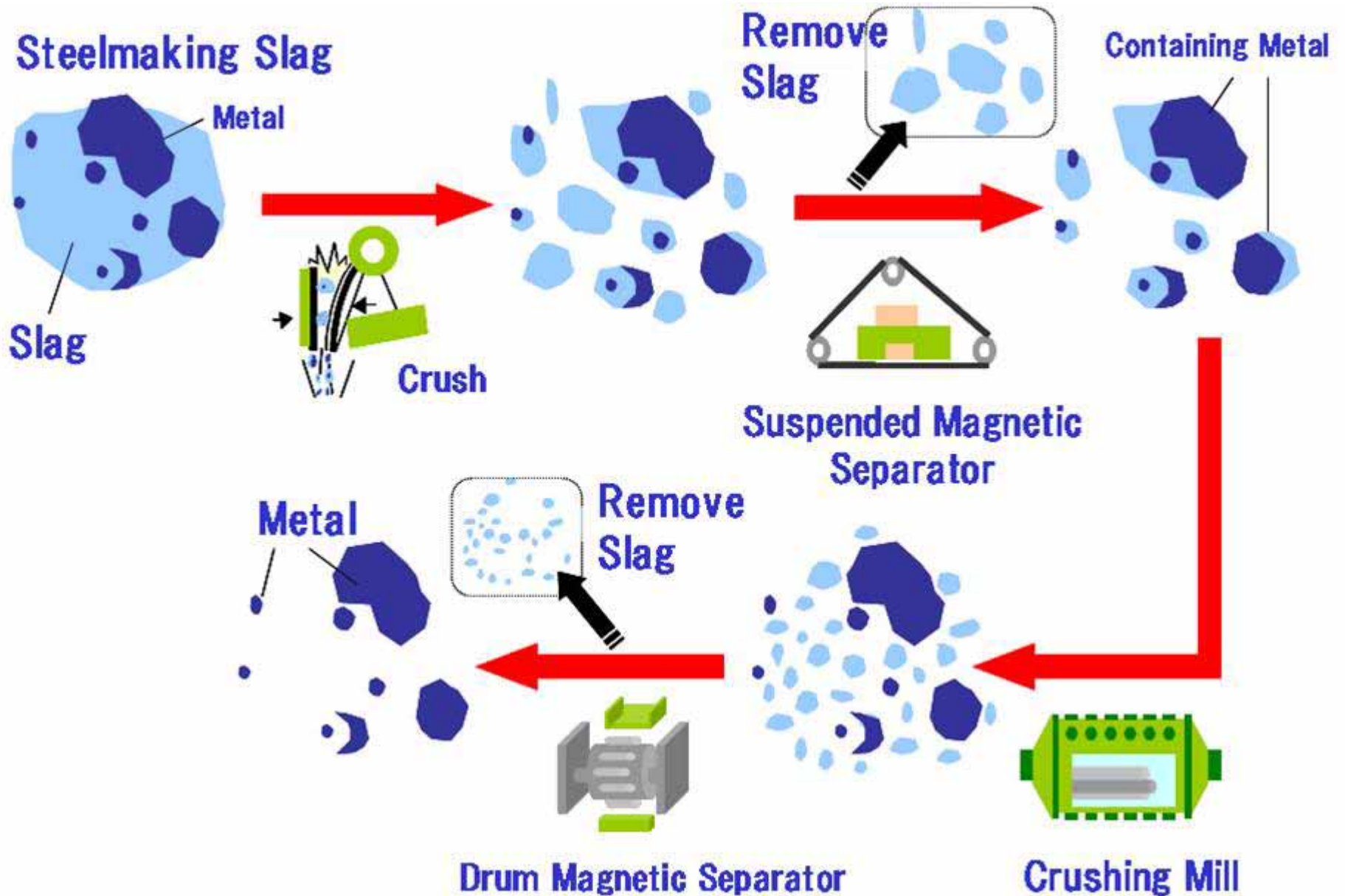


Production, Property and Use of Steel Slag

(1) Production Process of Steel Slag

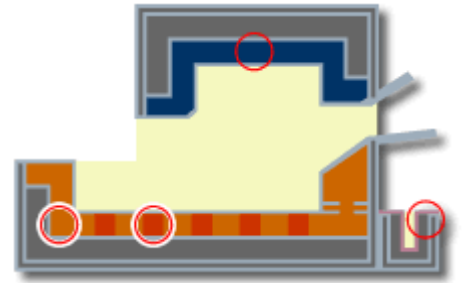


(3) Separation of Metal from Slag

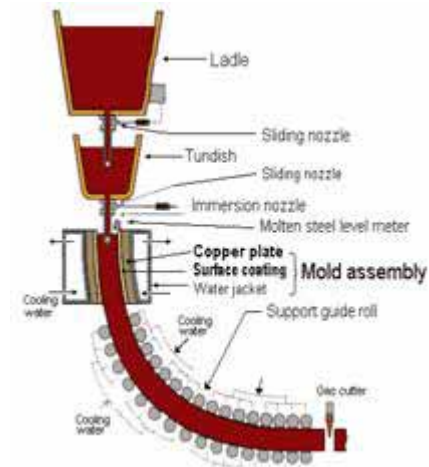


5.(3) 進行中のビジネス

- 不定形耐火物製造技術(生産性向上、コスト削減)
 - 大光炉材(株)(M社と交渉中)

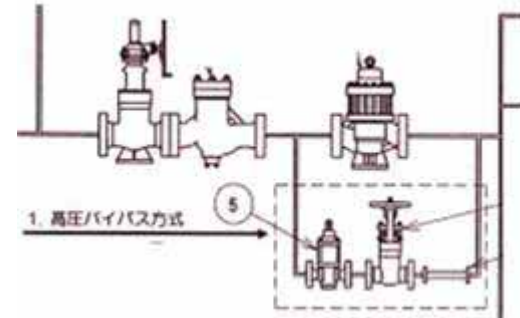


- 連続鋳造モールドメッキ技術(長寿命化、品質向上)
 - 三島光産(株)(交渉先検討中)

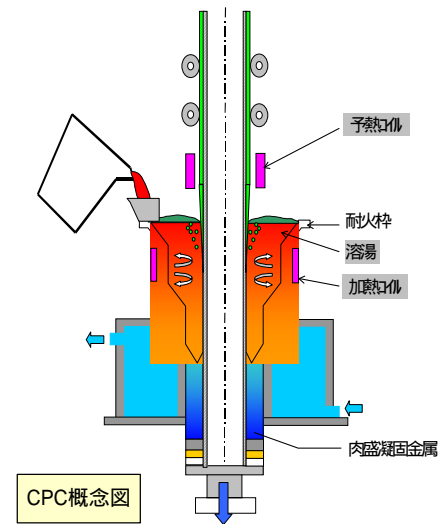


5.(3) 進行中のビジネス

- 熱間圧延スケール除去用高圧水制御技術 (生産性・品質向上)
 - (株)極東製作所(交渉先検討中)



- 圧延用CPCハイスロール(生産性向上、品質向上、コスト削減)
 - (株)フジコー(交渉先検討中)



5.(4) チェリャビンスク市の環境改善に関する協力

■ 廃棄物処理グランドデザイン策定

- 北九州市（改善案提言）
- チェリャビンスク市・州（ワーキンググループで実行）

■ 環境産業に関するビジネス交流

- ごみ焼却工場の建設
- 廃棄物最終処分場の新設
- リサイクル工場の建設（例：ビン・缶・廃棄プラスチック）



6. これからのロシアとの経済交流

環境、鉄鋼関連産業での技術交流

チェ市と北九州市は同じ重工業で発展した共通基盤



大気汚染や産業廃棄物処理に伴う公害が発生



環境技術移転等を通じて環境改善に協力

鉄鋼産業に関する技術移転

不定形耐火物製造技術処理

製鋼スラグ処理技術等

廃棄物処理に関する技術協力

ごみ焼却炉建設

最終処分場建設

リサイクル工場の建設・操業



7. 日本の環境モデル都市

- 日本政府は、世界に誇れる先駆的な環境対策に取り組む「環境モデル都市」を選定
- 日本全国から北九州市など6都市が選ばれた
- 北九州市の取り組み
 - CO₂の市内分排出量を2050年には5年度比で半減
 - 都市間の環境外交を実践し「低炭素化センター」を設け、CO₂削減に協力
 - 長寿命で省エネ型の「低炭素200年街区」整備

ご静聴ありがとうございました。

